



第5章

資 料 集

リトル・ママフェスタTOKYO/2014.....	P218
西武池袋本店イベント.....	P223
としま100人女子会参加者主催ワールド・カフェ報告.....	P224

リトル・ママフェスタTOKYO/2014

個人の意見(付箋)集計データ

●リトル・ママフェスタ東京2014の概要

・「としま鬼子母神プロジェクト」の一環として、民間事業者との共催により「リトル・ママフェスタ」を開催しました。フェスタ内に区ブースを設置し、事業紹介のパネル展示や女性の健康や子育てに関する情報提供及び相談を行いました。

男女平等推進センターは、F1会議キックオフイベント「としま100人女子会」の報告、パネルの展示、キックオフイベント当日の様子を撮影したDVDの上映を行いました。また、F1会議での議論の参考にするために「ママが住みたい街ってどんな街？」をテーマにご来場いただいた皆様にご意見を付箋に記入していただきました。

下記はそれをまとめたものになります。

- テーマ……………「ママが住みたい街ってどんな街？」
- 実施日……………平成26年9月9日(火)・10日(水) 午前10時00分～午後4時30分
- 会場……………池袋サンシャインシティ 文化会館4F(展示ホールB)
- 付箋数……………176

大カテゴリー名	小カテゴリー名	個人の意見の詳細		
子育て・教育	子育て支援	子育て支援が充実している。公園の多い街		
		5才までお金が一切かからないシステムをお願いします!		
		子どもが遊べる施設が多くある街		
		安全で子育てしやすい街		
		子どもが安心してたくさん遊べるまち		
		子どもがのびのび暮らせる街!		
		子育てしやすい。保育園に預けられるまち		
		子育てしやすい町!		
		子育てしやすい町		
		子育てしやすいまち		
		子育てしやすい町。緑(自然)がある町。駅前が充実している町		
		子育てしやすい安全な街		
		子育てがしやすい街		
	子育てしやすい安全な街	14	40%	
	保育園・保育施設	保育園に入りたい		
		待機児ゼロの街!		
		保育園に入りやすくなりますように		
		保育園にすぐ入れる		
		保育園に入れる町		
		保育料一律!子育てしやすい街		
		保育園を増やしてほしい		
		保育園充実		
		保育園に入れる街		
子育てしやすい街。保育園充実はもちろん幼稚園の延長保育も増やして欲しいです				
保育園を増やしてほしい。広い遊び場を増やしてください	小計	構成比		
3人の子どもが同じ保育園に入れる街	12	34%		

大カテゴリー名	小カテゴリー名	個人の意見の詳細				
子育て・教育	子どもの居場所	子どもが安心して一人で外で遊べる町				
		小学生くらいになった子どもが友達と安心楽しく遊べる街				
		子どもが安全に遊べる場所があるといいと思う				
		子どもと遊べる場所がたくさんある街				
		子どもの遊び場がたくさんある。ママも同時に楽しめるといい				
		子連れで遊びに行ける場所が多い街。ベビーカーをおしやすい等!!				
		屋内遊戯施設を増やしてほしい				
		屋内で広くて子どもが遊べる公共の場所がほしいです	小計	構成比		
		子どもの遊び場がたくさんある街	9	26%		
				合計	構成比	
			35	20%		
協働・コミュニティ	子どもに優しい町	子どもが住みやすいまち				
		子どもに優しい町!				
		赤ちゃん、子ども、女性に優しい町				
		子どもにあたたかい視線をくれるまち				
		子どもを見守る町				
		産後のお母さんに優しい町				
		ママにも子どもにも優しい街!!				
		子どもやお年寄りに優しく、住民みんなが笑顔で暮らせる街!				
		子どももお年寄りにもみんなに優しいまち				
		子連れでも動物連れでも住みやすい街。緑や芝生のある公園がもっと増えるといいと思います				
		子連れに優しい街				
		子どもに優しい町				
		子ども、ファミリーに優しい街であってほしいです				
		子どもに優しい。公園が多い				
		子どもに優しい街				
		子どもに優しい				
	子どもに優しく接してくれる街					
	子どもが安心して住める					
	子どもにとって住みやすい街に!	小計	構成比			
	子どもに優しい街。バリアフリー。分煙。大人の目が届きわたる	20	45%			
	あたたかい雰囲気	皆が親切。道がきれい				
		人々が親切なまち				
		みんなが優しさを持った町になって欲しい				
		優しい声をかけてくれる街				
		皆がお互いを思い合える街				
		皆が(私が)親切で助け合う優しさにあふれた街				
		あたたかい雰囲気が感じられるまち				
人があたたかい!!公園・緑が多い!!						
みんなで子どもを育てる町						
皆が協力し合い支え合える気持ちになる街に!		小計	構成比			
町みんなが仲良い所!	11	25%				
地域とのつながり	お隣さんとながりのある街					
	人とのつながり・コミュニティがある街					
	子どもたちがすくすく育つみんな仲良しの街!					
	あいさつあふれる町	小計	構成比			
	地域が家族のように親しみをもって子どもを育てていける街	5	11%			

大カテゴリー名	小カテゴリー名	個人の意見の詳細				
協働・コミュニティ	みんなが笑顔で暮らせる	みんなが楽しく暮らせますように				
		どんな年代の人でも住みやすく楽しい街				
		明るく子どもが楽しめる街				
		みんなが笑顔で楽しく暮らせる街				
		いつもにこにこ明るく元気に育つ街				
		子どもの笑顔であふれたキラキラした町。自然の多い町。女性も働きやすい町				
		子どもが沢山集まる楽しい町に住みたい	小計	構成比		
		ちびっこがたくさんいる街	8	18%		
				合計	構成比	
				44	25%	
環境・ごみ・リサイクル	環境整備	静かなところ				
		静かなまち				
		うるさくない公園がある、警察が近い				
		おしゃれなきれいな街				
		きれいな街				
		きれいな街に住みたいです				
		ウキウキするきれいな街	小計	構成比		
		きれいで明るい街	8	19%		
	みどり・公園	緑の多い都心				
		緑の多い、公園の多い、女性の多い、若い人の多い街が好き				
		公園などが身近にある町				
		遊ぶところが多いとこ				
		きれいな公園				
		緑・公園の多い街				
		広くて行きやすい公園がたくさんある				
		子どもの遊ぶところ、公園・施設などが充実している町				
		公園がたくさんある				
		安心して外で子どもを遊ばせることができる街				
		子どもがのびのびと安心して遊べるような広い公園があるといい				
		公園がたくさん				
		公園がたくさん、お買い物に便利、治安がいい				
		公園や緑がたくさんある街				
		子どもが遊べる公園がたくさんある街				
		公園などある子どもの住みやすい町				
		砂場に吸殻、ガラスが落ちていない安心して遊べる公園のある街				
		子どもが安心して遊べる場所がいっぱいあるところ				
		犬の入らない芝生公園のある街				
		子供の遊べる場所自然をいっぱい恵まれた街に住みたい				
		公園がいっぱいでびのび遊ばせられるまち。子どもを安心して預けることのできるまち、待機なくしてください				
		公園が多い街、小児科が多い街				
広い公園があって子どもがいくつになっても走りまわられる環境のところ。のびのびできる文化が近くにあるところ						
公園や緑がいっぱいの街						

大カテゴリー名	小カテゴリー名	個人の意見の詳細					
環境・ごみ・リサイクル	みどり・公園	緑の多い街	小計	構成比	34	81%	
		緑の多い、子どもの多い街					
		緑の多い町、公園がたくさんある、空気がいい					
		自然が多くて外で遊べる街					
		空気の良い子どもたちの遊ぶ所があるところ					
		空気がキレイで窓を開けられるまち					
		空気がキレイ、緑が多い町、安心して子どもが遊べる					
		空気のおいしい、子ども、老人が住みやすい街					
		自然の多い安全な街					
		緑が多く、安心できる街					
					合計	構成比	
					42	24%	
住まい・道路・まちづくり	道路	ベビーカーで歩きやすい街	小計	構成比	14	8%	
		安心して皆が歩ける街					
		バリアフリーな街。子どもや赤ちゃんに優しい街					
		歩道が広くて、子どもと一緒に安心して歩ける街					
		歩道が広い					
		ベビーカーで歩きやすい、段差がない道					
		ベビーカーが通れる広くて、危険の少ない街					
		バリアフリー					
		段差が少なく、歩道が整備されている					
		バリアフリーで移動がスムーズな街					
		バリアフリーがたくさんある街					
		ベビーカーでお出かけしやすい街、段差をなくす、エレベーターを増やす、広い公園を作ってほしい					
		ベビーカーでどこへでも行ける町					
		子連れでも外出しやすい街(バリアフリー、歩道が広い、授乳に困らないなど)					
					合計	構成比	
					14	8%	
安全・安心	犯罪の傾向	暴走族がいなくて、静かに眠れる街	小計	構成比	2	6%	
		夜コンビニに行ってもたむろする大人がいないような、女性が歩いても安心できる街					
	安全安心についての取り組み	安全					
		安全で住みやすい					
		安全な街					
		安全な街					
		安全					
		安心して過ごせる町					
		安心して過ごせる町					
		安心住む場所					
		安全安心な街					
		安心安全の街					
		安心・安全で住みやすい環境					
		犯罪の少ない住みやすい 子育てしやすい街					
		女性が一人でも住める					
		治安の良い街					
		犯罪の少ない安全な街 公園などが充実している街					
		犯罪の少ない住みやすい 子育てしやすい街					
		事故、犯罪にまぎこまれない街					
		安全な町 子どもに優しい町					
		安全で子どもに優しい町					
安全で子どもが住みやすい町							
安全で子どもが元気に過ごせる街							

大カテゴリー名	小カテゴリー名	個人の意見の詳細			
安全・安心	安全安心についての 取り組み	安心して外でのびのび遊べられる町			
		子どもが安心してあそべる街			
		子どもが楽しく安全に住める街			
		子どもが外で一人でも安全に遊べる町			
		子どもが笑顔でいられる街			
		子どもが安心して生活出来る街になってほしい			
		子どもとのびのび暮らせる町			
		ベビーカーの赤ちゃんも、お年よりも安心して外出できる街に			
		平和そうな町			
		平和なところ。PM2.5を気にしなくていいところ。地震のない所			
		優しい気持ちで暮らせるまち	小計	構成比	
		笑顔でいられますように	33	94%	
					合計
				35	20%
その他	その他	ママたちがリフレッシュできる街!			
		子どもと一緒に食事ができるお店が多い			
		物が安い!土地が安い!			
		ドラえもん的な働かなくても暮らせる街			
		女性がきれいになれる町	小計	構成比	
		地元に戻りたい	6	100%	
				合計	構成比
			6	3%	

176

未来の池袋について語ろう

●グルメ&ビューティーパラダイスの概要

・「池袋」にもっと多くの女性に来てもらうための取り組みとして、西武池袋本店が主催のグルメ&ビューティーパラダイスに豊島区もタイアップさせていただきました。

男女平等推進センターでは、としまF1会議活動状況を紹介していただきました。また、下記A、Bのテーマでご来場の方からアンケートを取りました。いただいたご意見はF1会議に報告しました。

●イベント名 …………… グルメ&ビューティ パラダイス

〈コンセプト〉 未来の「池袋・グリーン大通り」を街歩き

●開催日時…………… 平成26年9月19日(金)～23(火・祝)

●開催場所 西武池袋本店 7階催事場

●回数 …………… 5

テーマ	A. 今の池袋に〇〇がほしい 「〇〇〇があったらいいな、池袋」	B. こんな街になったらいいなをキャッチフレーズにしよう 「〇〇〇な街、池袋」
1	室内で子どもが遊べる場所があったらいいな、池袋	治安が良い街、池袋
2	広い公園(子どもが遊べる場所)があったらいいな池袋	子育てしやすいホットな街、池袋
3	地域コミュニティがあったらいいな、池袋	ファミリーで住みたい街、池袋
4	緑の多い公園などがあったらいいな、池袋	安心・安全な街、池袋
5	待たずに座れるおしゃれなカフェがあったらいいな池袋	トーキョーな街、池袋

としま100人女子会参加者主催 ワールド・カフェ報告 (テーマ:ひとり親)

としまF1会議のキックオフイベントである「としま100人女子会」の参加者主催のワールド・カフェが開催されました。区は会場の提供、付箋やペン等必要物品の貸与、参加者募集の広報等の支援を行いました。ここで出された意見は、「としまF1会議」に報告を受けました。

- ワールド・カフェ実施日 平成26年9月28日(日) 16時00分～18時00分
- 場所(会場) 子供村3階
- 主催(団体名等) シングルマザーズ。ポコアポコ
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
- 主催者代表 斉藤利理子・栗林知絵子
- 主催者代表の連絡先 Mail:info@toshimawakuwaku.com
- テーマの分野(例、子育てなど) ひとり親
- ワールド・カフェの問い ひとり親の日々の暮らしの中で、困っていること、こうだったらいいなと思うこと
- 参加者人数 女性16人 男性0人 合計16人(区外の方2名)
- 提案シート数 17枚

自分たちができそうなこと・やってみたいこと

- ・ひとり親家庭の親や子の集まりやイベント(ひとり親家庭ではなかなかできない事)
- ・「人のつながりの輪を作る」「世に知らせる、知ってもらう」「支援・サービスなどの情報を交換する」
- ・ヨガ(親子、マタニティ、ママのみ、等)レッスン(インストラクターしているので)
- ・ママ友で集まって話をする
- ・クッキング、フリーマーケット
- ・ひとり親同士で、いろんなことを語りあいたい。
- ・ひとり親が集える場所を作る。
- ・住まい(住まいを探すのが大変、家賃負担が大変。)奨学金の返済の負担が重い。
子育て中の方が情報を共有したり、話合ったりできる場を設けてほしい。(定期的に参加しやすい形態で)
- ・ママ友が集まれる定期的なイベントを、保育付で(無料)開催する。
- ・ひとり親の方は、気を張って頑張っている方も多いので、困ってそうだったら、気さくに、お声をかけてみようと思った。
- ・親子参加で夕食会。
- ・子どもの受け入れなど、協力したい。「遊び場」「勉強」「料理」「裁縫」
- ・子ども服のお下がり。片親で育ったので、何か起こったとき子どもはその時どのような心境だったのか分かります。
イベントでお会いした方の相談、話し相手、愚痴などは聞けます。

区に対する提案

- 区や国が率先して、サポートして欲しい。
⇒場所の提供、費用の確保(ボランティアに頼らず、区が率先して援助したり、企業に働きかけてほしい)
- 子どもへの支援費の充実
⇒塾に通えるようにしたり、お金のために進学を諦めなくても良いように。また、部活など課外活動も参加できるように。
手当てを大学まででなく、大学卒業までに延長できるようにしてほしいです。

●子ども達がのびのび遊べる場所

⇒児童館が、どんどん閉館され子どもが遊べる場所が減ってる。支援センターも、おもちゃが昔より減り子どもが遊べない。
公園も、広い公園が少ない。(板橋区や新宿区は多い)

○小学校以上の子どもを放課後安心して預けられる場所を確保してほしい。

⇒保育園の場合は、ある程度遅くまで(19時頃)預かってもらえ、補食などもあるが、
小学校に進学した途端難しくなるので、公的な学童や放課後の遊び場(大人の見守りのあるところ)を充実させてほしいです。

●広報へのバックアップ

⇒ひとり親への買付の緩和(車の買付けなどの保証人がいない)
小学生(中～高も)が遊べるスペース

○ひとり親の遠足をしたいのでバックアップしてほしい。

⇒バス、バーベキュー、温泉。普段母子家庭ではできない、少し遠出。おいしいBBQ
ボランティアを募り、疲れはてている母たちは、語りの時間。ゆっくり温泉に入る。

●現在5万9千円のアパートに息子と二人で住んでいる。たまたま低予算で入居出来たが、

息子が(8歳)成長したら、1Kでは狭すぎるため、将来的に引っ越しを考えるが、予算がない。

⇒入居条件が一般と同じため、物件探しが難しい。一人親向けに割引や、優先的に入居出来たりというようなのがあったらいいと思います。都営や母子寮などは、入居が難しだったり、生活実態にあわないことが多いので
一般物件もハードルが下がるといいと思います。

○どのようなイベントや相談窓口、援助があるのか、目に触れるように告知してほしい。

⇒ひとり親になって区役所等に行った時に、民間でどのようなイベントや援助があるのか、チラシやパンフレット等、
多くの情報が手に入るように渡してほしい。その時に、簡単な説明をして、ここは、こういうことをやっているとか、
行政でやっているものだけではなく、それ以外の情報を提案してもらいたい。

●イベントなどを開催することも重要と思いますが、具体的な施策を充実させてほしい。イベント広報も、もっと広くして頂ければ。

⇒ひとり親のための住まいの確保(都営、区営)。家賃補助。

○すべての子どもの学習支援。

⇒・返済なしの奨学金制度をつくり

①将来、豊島区役所の公務員になってもらう。 ②将来、区内に在住してもらう。 ③ボランティア活動をしてもらう。

・宿題や放課後の勉強を無料で行き支援する。

・児童館を、これ以上減らさない。

・スキップは小学生しか利用できない。中学生になっても、継続して、先生久しぶり、と遊びにこれる居場所をつくる。

●すべての小、中学校の給食費を無料にする。

⇒どの子も、栄養のとれた給食を無料で食べられる。

○希望者全てが許可保育所に入れるようにしてほしい。

⇒一つの窓口で、一人親で受けられるかもしれない(手当、住宅、保険のこと。生活の相談、奨学金、DV、保育園も)
様々な情報をワンストップで相談出来るように。許可保育園をすぐ作る。

●ひとり親の方に優先的に入居できる住宅(家賃も安くするなど)を確保する。

⇒都営住宅をあっせんするなど。

○給食、学童、全員無償。

⇒シングルな生活や不安など、体験談とか混じえて、知ってもらい、理解してもらう場をつくる。

そして、食や、あずかりなどの必要性を、わかってもらいたい。給食、学童の必要性が、理解してもらえる。

●子どもがのびのび成長できるよう、地域社会へ認知、協力、理解を求めてほしい。

⇒学区で協力委員や場所をもっと増やしてほしい。

○都営住宅を増設してほしい。

⇒返済不要の奨学金を作って欲しい。保育園を増やして欲しい。認可保育園に入るために離婚している人がいるらしい。
そうではなくて本当に困っている人に助けがまわらないのはおかしい。是正して欲しい。

としま100人女子会参加者主催 ワールド・カフェ報告 (テーマ:LGBTsもみんないっしょに地域で暮らそう)

- ワールド・カフェ実施日……………平成26年10月18日(土) 18時00分～20時30分
- 場所(会場)……………エポック10 研修室
- 主催(団体名等)……………Queer&Ally
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
- 主催者代表……………前田健太・栗林知絵子
- 主催者代表の連絡先……………Mail:info@toshimawakuwaku.com
- テーマの分野(例、子育てなど)……………LGBT
- ワールド・カフェの問い……………LGBTsも、そうでない人も地域で一緒に暮らすために何が必要か?
- 参加者人数……………合計36人
- 提案シート数……………37枚

自分たちができそうなこと・やってみたいこと

- ・区の施設に、多目的トイレ、誰でもトイレを作った方が良い。特にトランスジェンダーの方たちが困っていると口こみで広める。
- ・女はピンク、男はブルーと性別の固定イメージを取りさるように、赤ちゃんが生まれた時の服の色などプレゼントする習慣を見直そうと友人に伝える。
- ・ファミリーサポートの研修に、LGBTについてレクチャーする機会を設けてもらいたい。
- ・母親学級、両親学級でLGBTのことを学ぶ重要性を訴える。
- ・こういったイベントの開催。
区で、LGBTを大々的に支援してほしい。(住みやすい町作り)
- ・今回のようなイベントをまた開催する。
- ・このような機会を定期的に設ける。
- ・LGBTに理解があると伝えること。LGBTの勉強会、交流会を開くこと。
- ・LGBTに対する知識を持ち、LGBTの方を理解出来るようにしたい。
手始めに、自分の子供にLGBTを説明出来るようになりたいと思います。
- ・積極的にカミングアウトして、色々な人に知ってもらう。行政に働きかける。
- ・友達のことを受け入れる。LGBTを受け入れてもらう。
- ・理解する。
- ・大学の友人に向けたイベント開催。
- ・自分ももっとオープンになって、LGBTsとは何か色々な人に知ってもらう(可能な範囲で)研修会の企画。
- ・今回の会のような機会をたくさん作って、もっと若い人に来てもらい知ってもらう。
- ・理解を深める。
- ・LGBTに関する情報(書籍やパンフレット)が入手できるコミュニティセンターを設置する。
- ・このような会を企画する。当事者と支援者が交流して、当事者の考え、グラデーションほどにパターンがある個性を知ることから理解する場を設ける。
- ・教育関係者への知識啓発授業の実施、冊子など教材の作成、専門性のあるNPOによる。
- ・相談支援者への研修。

- ・子育て、育児にかかわる人(これからかかわる人)たちとLGBT座談会。(ちょっとした不安などが、話せる場づくり。)
- ・児童、生徒へのLGBT出張授業、(専門性のあるNPOによる)etc
- ・LGBTを広める。あたたかく見守る。
- ・理解促進の交流会。
- ・今後、教員免許を取ろうと考えているので、よく勉強して、教育現場で伝えていきたい。
- ・無理解が彼らを苦しめているのがよく分かりました。このような集会があり、明るく楽しいなかで、理解が深まりました。このような集まりが必要と感じます。
- ・イベント交流会を開く。
- ・LGBT関係のざっくばらんな交流会、勉強会。正しい知識が必要。理解者を増やしていくことが重要。学校の授業支援。
- ・友だちにLGBTについて話をする
- ・友だちに自分が打ちあけられたときは、否定せず話を聞くようにしよう。
- ・LGBTの当事者の話を聞き、どのように偏見がなくなるのか?見方がかわるかをワールド・カフェなどで共有する。

区に対する提案

- 新しい区の庁舎には、多目的トイレのピクトグラムにはトランスジェンダーの人も入れるような工夫をする。
⇒担当課の方にLGBTのことを学んで実行に移してもらう。
- 区の保育園、幼稚園、小学校、中学校の教育の中で、まずは、男女による色の固定イメージを取り去るように教育する。
そのためには、教育関係者、子供の施設の職員に教育を!
⇒LGBTを学ぶ。今日のようなワールド・カフェを行う。
- ファミリーサポートの研修に、LGBTについて学ぶテーマを設ける。
⇒LGBTについてレクチャーできるリビットさんたちを招く。
- 母親学級、両親学級でLGBTのことを学ぶ機会を設ける。
⇒母親学級、両親学級でLGBTのことを学べるように講師を招く。
- LGBTに関する小中学生への教育
⇒①学年別、発達具合に応じた教育の実施。
②人権に関する教育にLGBTを入れる。
③以上、実施不可でも、性教育の時に先生が「同性を好きになる人もいます」という一言を加えるだけでも前進なので、実施して頂きたい。
- 池袋でLGBTの方専門の不動産業を行っています。区と協力してセクシャルアイノリティの方を応援出来たら幸いです。
- 教育現場(小学校、中学校など)職員に対するLGBTの知識の教育の必須化
⇒LGBTの子供たちは、自分のことを打ち明けられず、「学校」「家」以外になかなか情報を得られない(お金もない)。そのなかで教員(見本となる大人)から発せられる言葉の影響はとて大きく(私自身もゲイ当事者で経験あり)差別などに怖れて、常々孤独を抱くようなことがないよう、正しいLGBT知識をまず教員へ教育してもらいたい。
- 医療現場への職員に対するLGBTの知識の教育の必須化
⇒LGBTの中には、同情という理由で婚姻ができなくても、パートナーとして暮らしている人がたくさんいる。緊急時、家族以外に入室出来ないとき、理解をして柔軟に対応できるよう、そのほかにも男女と分けられないトランスジェンダーの存在など、人の命を守る立場として、正しい知識を教育して頂きたい。
- 区でもLGBTの知識、理解を広め、深めるようなイベントをして欲しい。
⇒同性愛者とトランスジェンダーが、よく誤解されることが多いので、LGBTの基礎知識を教えたり、今後の支援の仕方等に対して意見を交換する場所が欲しい。
- 窓口を作ってほしい。(相談出来るようにしてあげてほしい)
⇒窓口を作って、電話番号を書いたチラシを町中に貼る。(よく見かけるお悩み相談はこちら)みたいなもの)
- 教育 小、中学校の授業としてLGBTを教えてもらいたい。当事者の子供が悩まないように・・・より多くの理解者が増えるように……。

○区立の小、中学校でセクシャル・マイノリティ(や他のマイノリティ)のことをきちんと教えて欲しい。

⇒教職員に対する研修、その後児童、生徒に対しての授業。

●学校で話す場所や人を

⇒カウンセラーの先生。分かってくれるような大人を。

○LGBTの本が図書館、保健室にあってほしい。教師がLGBTをもっと知ってほしい。相談窓口(メール・電話)を設けてほしい。

●またこういう会をやりたい。

○特別支援学校で性教育をうけたい。(一般的、広範囲)

⇒障害別に性教育をやってほしい。人権を教えて欲しい。障害について詳しく教えて欲しい。

●区主催のイベントを開催して欲しい。講演会や交流会など。

⇒ロールモデルの方に来ていただいたり、いろんなセクシュアリティの方と交流できる場

○様々な人がこういったイベントに来れるような情報の拡散。

⇒・セクシュアルマイノリティ(LGBTs)への抵抗感を減らす試み

・肯定的な情報を、興味を引くような表現で広める。

・対象者を明確にする(教師・親・大学生とか誰でもセクシュアルマイノリティ・マジョリティなど)

・情報の伝え方各家庭へ、学校へ、SNSなど

●正しい教育を小学校のうちから、教えてほしい。

⇒小学校の頃にLGBTのことをしっかり知っておかないと、イジメもおこるし、理解できず、困乱すると思います。

なので正しい教育を受けれるようになればと思います。

○交流会を増やしてほしい。

⇒イベント、交流会を増やしてほしい。

●LGBTコミュニティセンターの開設、運営

⇒・区の公共の施設の一角を、LGBTコミュニティセンターとして開放してほしい。

・NPOやボランティア団体に運営は委託し、その活動の予算を出してほしい。

・センターで開催するイベント等の情報を区報で紹介してほしい。

○区の広報に協力してほしい。情報が届かない人に届けるのは、行政の広報が一番だから。

区の後援事業にしてほしい。場所を無料にしてほしい。

⇒区民(特に若者)子育てママなど、つながり力も地域の有力者(協力者)もお金もないが、

交流会や勉強会、居場所づくり、などを主体的にやりたい。場所は行政が全面的にバックアップしてほしい。

全面的なバックアップとは「後援事業の」許可を出して、チラシの配布、HP、等で広報する。場所も公共施設を無料で提供する。

●教職員に対する研修の場の提供(人権研修)や冊子などの作成協力や配布協力。

⇒区と協働し、教職員の知識啓発をしていけたらと思います。

○①LGBTの担当窓口を周知徹底する。

②LGBTに関する職員研修の機会提供。

⇒①どこに相談していいのかを決めて周知徹底。

②すべての職員、特に相談支援者への研修資料提供。

●会場提供や広報のバックアップ、関連図書フェアとか。

⇒安心して相談できる先の情報リスト。LGBTフレンドリーな医療施設についての情報。

○各学校への広報や資金提供。

⇒区と協働、各学校への知識提供が出来たらと思います。

●義務教育でも学べるよう、学校教育、赤ちゃんの母親学級、父親学級で教える。

○広報のバックアップ

⇒セクシャリティに対する教育、正しい情報にアクセスできるように、セクシャリティに関する正しい情報に対するSEO対策、弱者情報に対するSEO対策。

●LGBTをもっとオープンにしてほしい(当事者も行政も)

区民のLGBTに対する見方が変わる。イジメなどがなくなるのではないか。{公開性}

⇒LGBTの集まりなど区報にも載せて、悩んでいる当事者を引き合わせる。話し合いの場を提供し、救ってあげてほしい。

○小学校からの教育現場で、「セクシュアルマイノリティ」という科目を取り入れる様にしてほしい。

⇒・セクシュアルマイノリティという科目を小学校から取り入れる。

・男女以外のカテゴリーがあることを理解する。

・声に出して言えない人のため、LGBTの団体を紹介する窓口。

・楽しいイベントを広める。(LGBTs)。

こんなにたくさんの人が悩みながら、豊島区で暮らしているとは思っていませんでした。是非、何か進めていけたらと思いました。

●行政の人たちが理解し、受け入れ、多くの人に伝える方法をとってもらいたい。

⇒学校(小中高大)特に小中学校の先生の理解が絶対必要だと思います。

○気軽にイベントを開催しやすいように、会場提供や広報のバックアップやサポートをしてほしい。

⇒もっともっと広く多くの人に知ってもらいたいので、広報を協力してもらいたいです。

●交流会、勉強会への支援。区役所職員、地元企業スタッフへの教育、啓蒙。

⇒地元企業のスタッフ向けにLGBT講座を開いてほしい。同様に学校の教師向けにも開いてほしい。

○LGBTコミュニケーションスペースを創る

⇒大阪の淀川区のように行政が主体となって設置するのも、横浜市のSHIPのようにNGOが作るのを行政がサポートするのも、「場所」として(物理的)に存在することが大切だと思います。

●学校などそういう場でも講演会などを開く

⇒理解してもらえなくても、せめてLGBTについて知ってもらえるようにする

○学校で性教育の授業をしてください。

⇒保健の授業や総合学習等で先生から教えてほしい。

●情報、知識がないことにより当事者の子どもたちがどれだけ生きづらい思いをしているかを感じ、

いじめ、自殺を減らすためにもどのような施策が必要か考える会をやってほしい

⇒行政・民間で当事者の声を聞き、豊島区に見えにくい1,000人以上いるLGBTsの方々が生きやすい社会になるため

全区民が偏見を持たない仕組みを考える。具体的には小6か中1ぐらいのときに公立学校の全ての子どもに

LGBTsについて知る授業をやる。(障害者も同じだが、マジョリティ側の子どもがマイノリティ側の子どもについて知ることが大切)

としま F1 会議設置要綱

平成26年8月1日
総務部長決定

目的

第1条 女性が暮らしやすいまちづくりのさらなる推進を図るため、子育て世代である20歳から39歳の女性の意見やニーズを掘り起こすとともに、女性の区政参加を促進するため、としまF1会議(以下「会議」という。)を設置する。

所掌事項

第2条 会議は前条の目的を達成するため、次の事項について検討し、意見・要望を集約し、区長へ報告する。

- (1) 若年世代女性の仕事、出産、育児等に関する意識の把握・分析
- (2) ワーク・ライフ・バランス実現のために必要な制度や方策等の検討
- (3) その他、会議が必要と認めたこと

構成

第3条 委員は、別表に掲げる者で構成する。

2 20歳から39歳の女性の委員数は、委員総数(アドバイザーを除く)の10分の6未満とならないものとする。

別表

- ・学識経験者
 - ・ワーク・ライフ・バランスフォーラム交流会参加者
 - ・豊島区ワーク・ライフ・バランス推進認定企業勤務者
 - ・子ども家庭支援センター利用者
 - ・青少年育成委員
 - ・男性の子育てグループ
 - ・区内大学在学学生
 - ・キックオフイベント参加者
 - ・区職員
 - ・その他、区長が認める者
- 〈アドバイザー〉
- ・企画課長
 - ・広報課長
 - ・男女平等推進センター所長
 - ・健康推進課長
 - ・長崎健康相談所長
 - ・子育て支援課長

委員の任期

第4条 委員の任期は平成27年3月31日までとする。

座長

第5条 会議に座長を置く。

- 2 座長は、あらかじめ区長が指名する。
- 3 座長は、会務を総理し、会議を代表する。

助言者

第6条 会議にオブザーバーを置くことができる。

- 2 オブザーバーは、座長の求めに応じ、会議に出席し意見を述べることができる。

会議

第7条 会議は、座長が招集する。

庶務

第8条 会議の庶務は、豊島区総務部男女平等推進センターにおいて行う。

その他

第9条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は座長が別に定める。

附則

施行期日等

- 1 この要綱は、平成26年8月1日から施行する。

平成26年度としまF1会議委員名簿

(任期:平成26年8月1日から平成27年3月31日まで)

番号	氏名	区分	備考
1	萩原 なつ子	学識経験者	座長
2	鞠子 みちる	WLBフォーラム交流会参加者	
3	渡邊 香里	WLBフォーラム交流会参加者	
4	清水 綾乃	豊島区WLB推進認定企業	
5	佐々木 久美	豊島区WLB推進認定企業	
6	四元 千佐子	豊島区WLB推進認定企業	
7	神立 行子	東部子ども家庭支援センター利用者	
8	藤井 明	豊島区第6地区青少年育成委員	
9	としまファザーズネットワーク(鮫島 一彦)	子育てグループ(男性)	
10	新谷 百合子	区内大学在学学生	
11	菅森 朝子	区内大学在学学生	
12	有里 真穂	としま100人女子会参加者	
13	追杉 まゆ子	としま100人女子会参加者	
14	大西 直子	としま100人女子会参加者	
15	小幡 有希子	としま100人女子会参加者	
16	加藤 直美	としま100人女子会参加者	
17	木内 歩	としま100人女子会参加者	
18	木下 富美子	としま100人女子会参加者	
19	栗林 知絵子	としま100人女子会参加者	
20	杉森 美和子	としま100人女子会参加者	
21	高田 宜子	としま100人女子会参加者	
22	田中 あゆみ	としま100人女子会参加者	
23	藤澤 愛子	としま100人女子会参加者	
24	本間 瑞穂	としま100人女子会参加者	
25	松田 絵里加	としま100人女子会参加者	
26	見世 梨沙	としま100人女子会参加者	
27	宮谷 美智子	としま100人女子会参加者	
28	森 直美	としま100人女子会参加者	
29	山田 亜紀子	としま100人女子会参加者	
30	吉原 美智子	としま100人女子会参加者	
31	関森 文子	区職員(生活産業課)	
32	横田 祥子	区職員(広報課)	

アドバイザー委員

番号	氏名	所属	備考
1	佐藤 和彦	企画課長	
2	矢作 豊子	広報課長	
3	小椋 瑞穂	男女平等推進センター所長	
4	尾本 由美子	健康推進課長	
5	松崎 恵	長崎健康相談所長	
6	猪飼 敏夫	子育て支援課長	